

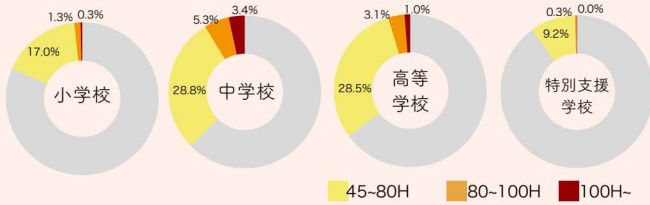
教育委員会から、保護者の皆様にお願ひです。

●学校における働き方改革へのご理解とご協力を願ひします。

県教育委員会では、教育の質向上のため、先生方が健康で心にとりをもって働くことができるよう、校務のICT化など業務改善を支援しています。

🕒 時間外勤務の状況

時間外勤務が月45時間を超える教育職員の割合（令和6年度）



📡 県教育委員会の主な取り組み

スクールカウンセラーやスクールサポートスタッフなど専門スタッフの活用、部活動指導員の配置、ICT活用の推進、調査内容・方法等の見直し、校外の会議・研修の見直しなどを行っています。

📡 ICT活用推進をPICK UP!!

県立学校への連絡方法をデジタル化しています

- 欠席連絡や学級担任への連絡などに、連絡フォームをご活用ください。
- 学校への電話は、教職員の勤務時間内を基本として各校で定めています。各校の対応時間内をお願いします。
- 児童生徒の生命や安全に関わる重大事態など、真に緊急を要する場合には、最寄りの医療機関、消防、救急、警察等に連絡をお願いします。

※具体的な内容は、各校にお問い合わせください。

保護者・地域の皆様へ

- 1 学校への連絡の際には、教職員の勤務時間(概ね8:00~16:30)にご配慮ください。
- 2 登下校時の見守りや花壇整備、学校行事の準備・後片付け、部活動のサポートなどのボランティアへの積極的な参加等をお願いします。
- 3 運動会等の内容変更や保護者参加行事の平日開催、お祭り等地域行事への関わり方などの学校行事の見直しについてご理解・ご協力を願ひします。
- 4 紙チラシの配布縮減や学校を介さない各種募集・アンケート調査の実施、デジタル化などの業務の見直しについてご協力を願ひします。



学校における働き方改革詳しくはコチラ

子どもにとって「遊び」は学びそのもの。夢中になって遊ぶ中で、考える力や表現する力、人と関わる力が自然と育まれていきます。一人ひとりの「やってみよう！」が広がるとき、学びはもっと楽しく、深くなります。遊びから始まる学びが、未来へつながります。

幼児期の遊びで育った力は、小学校の学びへとつながります。5歳児から小学校1年生までの「架け橋期」を大切に、園と小学校が連携して子どもの育ちを支えています。子どもが安心して一歩を踏み出し「できた!」「わかった!」を実感できる学びをつないでいきます。

👉 幼児教育は「遊び」が学びの出発点!

✏️ 小学校へ、なめらかに繋がる学び

青森県幼児教育のグランドデザインを策定しました!!

子どもまんながで育むあおもりの未来!

幼児期は、生涯にわたる学びや人との関わりが育つ大切な時期です。青森県では、すべての子どもが安心して自分らしく成長できる環境づくりを目指し、「青森県幼児教育のグランドデザイン」を策定しました。このグランドデザインには、子どもたちの育ちを支えるために大切にしたい考え方や、家庭・地域・幼児教育施設等が共に取り組む方向性を示しています。

🌸 家庭や地域も、大切な「学びの場」

家庭は子どもにとって最初の学びの場、地域は多様な体験が広がる学びの場です。身近な大人や地域の人との関わりの中で、安心感や自己肯定感が育まれます。家庭や地域がつながり、子どもを見守ることで、「やってみよう!」が広がり、子どもの成長を支えていきます。

👉 全ての子どもに寄り添う教育へ

子ども一人ひとりの育ちや背景は様々です。青森県では、発達や環境の違いにかかわらず、全ての子どもに寄り添う教育を大切にしています。関係機関が連携しながら、一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、「その子らしく」安心して成長できる環境づくりを進めています。



子どもたちは、遊びは生活の中でたくさんを学び、成長しています。その学びを支えているのは、家庭や地域、そして社会全体です。「子どもまんなか」の視点で、子どもたちの声や思いに耳を傾けてみませんか。一人ひとりの「やってみよう!」を大切にすることが、あおもりの未来を育てていきます。

